



# 五本の木

やる<sup>き</sup>気 元<sup>げんき</sup>気 根<sup>こんき</sup>気 勇<sup>ゆうき</sup>気 思<sup>おも</sup>いやり

令和3年7月1日 文責 河住悦久



## 白根東小のいいところ みつけ

### 無言清掃の取組「す・き・だ・よ」

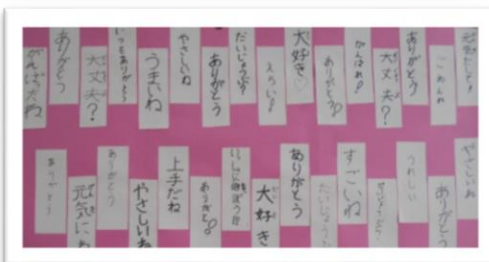
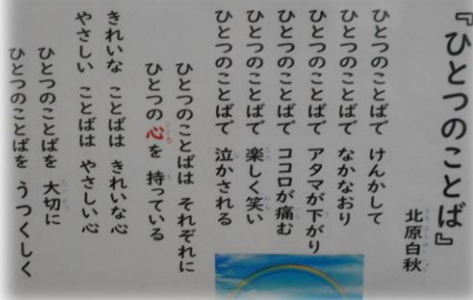
本校では今年度も昼食後の15分間の清掃の時間を「公共心の育成」と「勤労体験と勤労の喜び」基本的な考え方におき、無言を意識し、集中して掃除をすることを習慣化するとともに、自ら考え清掃ができる児童の育成を目指し「無言清掃の時間」として取り組んでいます。清掃の合言葉は「す・すばやく」「き・きれいに」「だ・だまって」「よ・よくがんばる」。清掃は、13:20までに掃除場所に集合して分担を確認し、13:20から13:33までの13分間は無言で清掃に取り組みます。その後2分間で清掃の振り返り、手洗い等を行います。5、6年生の頑張る姿をお手本に全校のみんなが頑張っており取り組む姿が見られるようになってきています。掃除に一心に取り組むことで心がみがかれ、思いやりの心、感謝の心が子供たちに芽生えることと思います。また、謙虚で物事によく気づく人になれるのではないのでしょうか。毎日の積み重ねの中で、白根東小学校の子供たちの心がより素敵に成長して欲しいと願っています。



### 道徳掲示版

白根東小学校の子供たちが、毎日のように行き来する職員室前の廊下に今年度道徳掲示版を設置しました。これは今年度の道徳教育推進担当教師（5年教師）のアイデアで、現在、北原白秋の詩「ひとつのことば」が紹介されています。そして、増やそうふわふわことばとして、「ありがとう」や「上手だね。」等、授業の中で5年生の子供たちが考えた相手に感謝の気持ちを伝える言葉や友達を肯定的にみる言葉も紹介されています。伝える言葉の大切さについて、全校の児童にいつも心に留め置いて、毎日の学校生活の中で生かして実践してほしいとの願いがこの掲示版の中に込められています。

感染症対応のため、残念ながら6月に予定していましたが今年度の地域ふれあい道徳授業参観は中止といたしました。本校では学校教育活動全体の中で道徳教育に取り組んでいます。学校にお越しの際は、道徳掲示版をご覧ください。



## 届け、白根東小 みんなのやさしさ 思いやり2

先月に続き今月にも「人権の花」について県外の方からご連絡をいただきました。ご紹介します。

『6月2日(水)田植えをしていた時に貴小学校からのやぶけた風船にポピーの種子の袋がついて、田んぼのあぜ道に落ちていました。いつ風船を上げたのか知りませんが、山梨県の南アルプスからのことで驚きました。内容は山梨県人権の花運動・南アルプス市白根東小学校、名前は〇〇さん、メッセージは「平等になる世の中をめざしケンカ・いじめはしない。平和に暮らしていこう。」とのことです。こんな遠い道のりをよく埼玉県の桶川市まで飛んできたと感動しました。(中略)世界人権宣言や日本国憲法で基本的人権の尊重が制定されています。こんなにも立派なきまりがあるのに何故、〇〇さんが述べていることがその通りにならないのか悲しくなります。(中略)常にみんながこのことを理解してみんなが、見て見ぬふりをせず、悪いことは勇気をもって言える人を一人でも育てていただきたいと思います。(中略)桶川の住民に〇〇さんの思いが伝わったとくれぐれもお伝えください。今年の9月ごろポピーの種を植えてきれいに咲くことを願っています。』ご連絡ありがとうございました。人権の花の本校の取組はこの程日本農業新聞でも紹介されることとなりました。



## 白根巨摩中学校区小中一貫教育の準備が進んでいます。

今年度に入り5月14日に第1回小中一貫教育推進協議会を開催したことは以前お伝えしました。本来であれば、進捗状況を直接お話させていただくべきですが、コロナ禍ですので、現時点での概要についてご報告します。

巨摩中学校区の小中一貫教育が進むとこれまでの白根東小学校の独自の教育がガラリと変わってしまうのではないかという心配の声もあるのではないかと思います。そのようなことはありません。小中一貫校の良さは、9年間という義務教育の期間を一つのスパンとして考え、小中共通の「めざす生徒像・児童像」を制定し、白根巨摩中校区の教育方針及び教育課程を整理・統合することで、効果的で効率的な教育を行うことができるようになることです。また、小学校と中学校との「縦のつながり」、小学校間、学校・家庭・地域社会といった「横のつながり」を強化し、充実させていくことで、児童生徒間の交流や教職員の交流を通して、小中学校間の段差の解消を図り、生徒指導上の課題等の軽減にもつながることも期待できます。冒頭の「無言清掃の取組」も白根巨摩中学校、白根飯野小学校と共通の指導のねらいをもって現在も取組を行っています。

今後は、実務的な検討組織により、具体的に教育課程の整理・統合、職員や児童生徒の交流、授業規律、学校生活のルール、学校評価項目やタブレット端末の活用状況について等を検討していくことが予想されます。教育課程を整理・統合する際の検討課題の例を挙げます。例えば「林間学校」という宿泊学習があります。本校及び飯野小の5年生で実施している林間学校は、両校とも八ヶ岳少自然の家を利用していますが、巨摩中学校の1年生でも同じ施設で校外学習を行っています。目的こそ異なりますが、検討した方がよい事例だと思っています。さらには小学校で行われている外国語等教科ごとの系統性を重視した教育課程の編成も必要です。保護者の皆様や地域住民の方々への広報活動もどのように行っていくかも課題の一つではありますが、学校としての役割を果たせるよう一層努力してまいりますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

